

米空軍グローバル・ホークの横田飛行場への一時展開について

令和5年5月12日付広資料第24号でお知らせしたこのことについて、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会は、下記のとおり口頭要請を行いましたので、併せてお知らせします。

記

1 要請日

令和6年5月28日（火）

2 要請先

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

北関東防衛局長

横田防衛事務所長

3 要請内容

令和5年5月中旬頃から、グアムを拠点に運用されている米空軍の無人偵察機グローバル・ホークが横田飛行場に一時展開されているところですが、開始から1年以上が経過しているにも関わらず、一時展開が継続しています。

本件は、我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増し、周辺国の軍事活動が活発化し、情報収集・警戒監視・偵察（ISR）活動はますます重要となっている中、行われるとのこと。平成29年度以降、横田飛行場への一時展開は6回目であり、令和元年度以降5年連続かつ、

今回の展開が1年以上継続していることから、横田飛行場への常駐化を含む今後の運用が強く懸念されます。

については、次のとおり要請します。（※）

- 1 展開の終了時期、周辺住民に影響を与える事項及びグローバル・ホークに関わる今後の運用について、迅速かつ正確な情報提供を行うこと。
- 2 安全対策を徹底するとともに、騒音など周辺住民の生活環境への影響を最小限にとどめること。

※ 国に対しては、「については、このような状況を十分認識され、次のとおり米軍に申し入れを行うとともに、国の責任において情報収集に努め、迅速かつ正確な情報提供等を行うよう要請します。」と要請